



## 関西地区よりそいホットライン

### ⑤ ライン研修会に参加して

去る2月14日（日）新大阪を会場に、昨年度に引き続き第2回目の「よりそいホットライン⑤ライン研修会」が開催されました。

私たちの団体「京都自死・自殺相談センター」では通常の京都自死・自殺相談センターの電話相談活動と併せて、週に2回、よりそいホットライン⑤ライン自殺相談ダイヤルを担当しています。

よりそいホットラインは一般社団法人社会的包括サポートセンターが、国の機関である厚生労働省の援護局や復興庁から補助金を得て「寄り添い型支援」のために行っている電話相談事業です。

スタートは東日本大震災が発生した平成23年に東北の被災地3県を対象として10月より実施されましたが、翌年3月からは暮らしの中のさまざまな困りごと相談を全国の専門相談員が24時間無休で電話対応を行っています。

今回の研修会には大阪・京都地区合わせて5団体、総勢33名の電話相談員が集まりました。参加した相談員はコーディネーターや他団体の相談員等と電話相談のルールや知識の情報共有、そして相談者の希死念慮（死にたい気持ち）に対応する相談員の態度や姿勢やあり方について、実践的で有意義な意見交換を行いました。

ネットワークを基盤としたこうした研修会は、これからの相談援助活動の大きな流れとなっていくことを実感した一日でした。

（相談委員長 廣谷ゆみ子）

## 京都府委託事業活動報告

### 京風 Cafe de monk きょうのモンク

### 初めての会を終えて

この3月 Sotto は大切な人を自死で亡くされた方々を対象に、京都府が主催する京風 Cafe de monk きょうのモンクを開催しました。この事業は特定の宗教・宗派に限らない龍谷大学の臨床宗教師を迎え、参加者にとって心置きなくお話できる安心・安全な居場所を府内2ヶ所で開設するものでした。

カフェのような居心地の良さを感じて安心して過ごしてもらえるよう、4日は長岡京市の中央生涯学習センターの和室をお借りし、スタッフがテーブルクロス・造花の飾り付けお菓子やお茶を用意してお待ちしていました。先だってテレビや新聞で報道された影響か、当日にも参加したいとの電話があり、6名の方が会場にお見えになりました。

初めての事業、初めての場所で初顔合わせと初づくしで、最初は堅く見えた参加者の表情ですが、臨床宗教師の方とのハンドマッサージでほころび始め、お茶やジュースを飲みながらゆっくりと過ごす時間を持つことで、様々なお話ができたようです。

なお7日の福知山会場でも古民家カフェしおんさんにご協力いただき、お迎えの準備をしていたのですが、参加者が居られませんでした。同じ広報をしても違う結果となった事は、自死で亡くなられた方の人数や自殺率の高さだけでは計れない今後の課題といえるのでは無いでしょうか。

一方で、特定の宗教によらない事で行政やNPO 団体と協力し合い、科学的物理的には納得出来ない思いや宗教的な問いかけを丁寧に受け取りまた答える機会を持てるのなら、これからも連携しながら、自死・自殺にまつわる様々な苦悩を抱えた方々のための居場所を作って行けるのではないかと考えています。

(副代表 吉田典生)



長岡京会場

参加者の感想（抜粋）

あたたかい気持ち  
になりました。お言葉  
が本当に優しくかった。あ  
りがとうございました。  
うれしかったです。

何をどう話して  
いいのかわからないま  
まとりとめもなく話しまし  
たが、落ち着きを多少取り  
戻し、明日から進んでい  
けると思います。

心の奥にあった今  
まで誰にも語ることの  
できなかったこととお話しでき、  
聞いていただく事ができ救われ  
ました。心より感謝申し上げ  
ます。

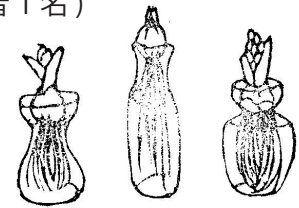
## 今月のことば

スルト オトモダチノ デンデンムシハイヒマシタ。  
「アナタバカリデハアリマセン。ワタシノ セナカニモ カ  
ナシミハイツパイデス。」

(「デンデンムシノ カナシミ」 新美南吉)

## 活動報告

- 2月期電話相談件数…102件 (無言 23件、よりそいホットライン担当 34件を含む)
- 電話相談委員会 … グループ研修 2月 18日 12名
- 2月期メール相談件数…受信件数 124件送信件数 101件
- メール相談委員会 … グループ研修 2月 4日 2名、14日 5名
- グリーフサポート委員会 … Sotto 語りあう会 2月 11日 6名 (参加者 1名)
- 居場所づくり委員会 … 委員会会議 2月 1日 3名  
おでんの会 “研究の場” 2月 3日
- 広報・発信委員会 … 委員会会議 2月 22日 4名



## 寄付ご協力一覧 (敬称略・順不同) 2016年2月1日～29日 受付分

### ご協力にこころより感謝いたします

浄土真宗本願寺派  
株式会社エクザム  
葛野洋明  
くつろぎカフェ葵  
荻野昭裕  
管野久美  
瀬戸恭子  
高木愛郁

藤岡大英  
下川弘暎  
宇野正憲  
大田垣聖圓  
松山市 西福寺  
佐喜正広  
中平了悟

成川和行  
みやま市西楽寺ローソク講  
稲田英真  
霍野廣紹  
水島真理子  
永江武雄  
匿名希望 4名

#### Sotto コメント

梅や桃がきれいに咲いていますね、二つの花は似ていて、なかなか見分けがつけられません。  
幹の木肌をみて、ゴツゴツしているのが梅、斑点があるのが桃、だそうです。(N.Y.)

#### 発行 2016年3月

特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター事務局  
〒600-8349 京都市下京区西中筋通花屋町下ル堺町92  
TEL 075-365-1600  
URL <http://www.kyoto-jsc.jp>  
E-mail [so-dan@kyoto-jsc.jp](mailto:so-dan@kyoto-jsc.jp)